

未来へつながる確かな安心をお届けします

# 肥後保険企画

2023年5月129号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 富士火災熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <http://www.higohoken.co.jp>

# 定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつも

ありがとうございます



こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。

▶ 新入社員が仕事に慣れてくると、徐々に実務に入る時期ですね。最初は軽微なミスが目立ったり、時には注意すべき点が出てきたりするかもしれません。そんなときには、しっかりと「叱る」ことが重要です。

▶ まず大切なのは事実確認をし、問題点を具体的に捉えます。至った経緯や考え、相手の気持ちを聴いて、なぜそれが問題なのか、変える必要があるのかを伝えます。

▶ 次に「どうすればよいと思いますか？」と質問して相手に考えてもらいます。改善策を相手に委ねて決定してもらいうことも重要です。あとは「よく頑張っていますね」「期待していますよ」と励ましの言葉で締めくくります。

▶ 叱ることは褒めることと同様に相手に承認すること。的確な叱り方は本人のやる気につながり、企業にとってもプラスになることと考えています。

▶ 先月はAIGのビルへ事務所を移転して一周年ということで、AIG熊本支店の皆さんとのお見知り食事を開催しました。支店長をはじめ多くの方々にご参加いただき、とても有意義な時間を過ごせました。



楽しいひと時

## 生命保険お役立ち一口情報

終身保険は、保障が一生続く商品です。しかし、何千万円という大きな死亡保障を準備すると保険料の負担が重くなってまいります。

ひと昔前であれば終身保険に加入して貯蓄するという選択肢もありましたが、現在は低金利時代。金利が安いということは、保険料が高いということなので、終身保険で死亡保障を用意したり、資産運用を行うメリットは見当たりません。

そんな終身保険ですが、相続税では法定相続人ひとりにつき、500万円の保険金が非課税になります。

仮に銀行に500万円貯金していればバッチリ相続税の対象ですが、保険金として受け取れば一定額まで非課税になります。この非課税枠を活用した相続対策に向く保険が終身保険です。



今月の楽しみは  
手書きの絵

手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。

このトロピカルな愛らしい鳥の正体はオニオオハシ。ブラジルの国鳥に指定され、アマゾンの宝石と称されるほどカラフルで美しい鳥です。黄色の巨大なくちばしは、実は空洞のスポンジ状で熱帯に暮らすオニオオハシにとって熱を放出するラジエーターの役割があるのだそう。

争いを好まない穏和な性格で寿命も20年以上と長寿の鳥。この鳥たちのすみ家がずっと豊かな環境でありますようにと願いを込めて描きました。



## 傷害保険の補償内容

## 不測のけが治療に給付



階段を踏み外したり、自転車で転んだり、日常生活では思わぬケガをすることがあります。不自由が長く続く重いケガは、収入や家計にも影響しかねません。傷害保険に入っておけば入院をした時などの助けになりますが、そもそも傷害保険とはどんな保険でしょうか？

商品や契約内容にもよりますが、ケガをして入院や通院をした場合に保険金が1日あたり数千円、手術だと数万円といった金額を受け取れるのが一般的です。

障害が残った場合や事故が原因で亡くなったときには百~数百万円単位の一時金が出ることもあります。



傷害保険の補償の対象には大きく3つの

条件があります。「急激」に負った、事前に結果を予測できない「偶然」の事故で、原因が体の外にある「外来」のもの、です。

例えば仕事中に落下してきた荷物での打撲や休日のスポーツでの骨折、交通事故でのケガも対象です。

靴ずれやしもやけなどは急激に負ったものではないので、通常は補償されません。またスカイダイビングやピッケルを使うような登山など危険性の高いものも対象外となることが多いです。仕事などで長期的に酷使したことが原因の疲労骨折や腱鞘炎、腰痛も補償されないことがあります。

ご関心をお持ちでしたらお気軽にご相談ください。

## 肥後保険登山倶楽部



こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回の登山報告は、鍛錬のための縦走です。

福岡県の人気ナンバーワンの山、大宰府にある宝満山。篠栗町にある若杉山から宝満山へ縦走14km、時間にして約7時間。見えている山々の稜線を写真の一番右の山の麓まで繋いで歩きます。登ったり下ったりが続きますが、そこは鍛錬、愚痴など言えません。

累積標高差は1200mとなかなか足に負担はききましたが何とか歩ききりました。

来月は南阿蘇で34kmという長距離を歩く予定なので、さらなる鍛錬に精進したいと思っています。



縦走する尾根の全貌

ちなみに今回の縦走のメンバーは、山岳会会員の女性3人とご一緒でしたので、おしゃべりが止まらず意外とあっという間の時間でした。

## スタッフ通信



「スマート・ライフ・プロジェクト」(厚生労働省)と「くまもとスマートプロジェクト応援団」(熊本県)に登録しました。どちらも、人生の最後まで元気に楽しみながら健康な毎日を送ることを目標としています。

これらのプロジェクトでは、運動、食生活、健診・検診の受診などについて、具体的なアクションの呼びかけを行い、自らが誘い合い、健康の輪を広げていくことで更なる健康寿命の延伸を推進しています。

参加すると、健康経営セミナーや健康づくりに役立つ情報を受け取ることができ、他企業、団体の取り組み事例の共有や勉強会に参加することができます。

「健康寿命をのばそう」をスローガンにした国民運動、スマート・ライフ・プロジェクト。

これからもアンテナを張り最新情報を取り入れながら、肥後保険企画ならではの健康経営の取り組みを進めていきたいです。



なんのために  
経営するのか



経営者から現場のオペレーションまで一貫してひとつの理念が判断と評価の基準になっているのが理想です。日々の仕事を支える不変の規律として活かされてこそその理念だと思えます。

「額縁理念」を掲げているだけの会社は言うに及びませんが、会社の状況や社員の立場に応じて解釈がブレてしまっただけにもなりません。

本書が言う「志」や最近の「パーパス」、少し前だと「ミッション」、表現はさまざまですが、要するに企業理念です。理念は企業コンセプトで、その存在理由を明らかにしています。

本書では7つの原則が挙げられていますが、その中でも特に気付きを得たのが3番目の「志に基づいた経営判断がなされ、現場でも一貫して実践がなされている」という原則です。

パーパス経営と言いながら、「額縁理念」を掲げているだけの会社は言うに及びませんが、会社の状況や社員の立場に応じて解釈がブレてしまっただけにもなりません。

乱読コーナー